

県民交流プラザ和歌山ビッグ愛・和歌山ビッグホエール・武道・体育センター
和歌山ビッグウェーブに係る指定管理候補者について

県民交流プラザ和歌山ビッグ愛・和歌山ビッグホエール・武道・体育センター和歌山ビッグウェーブの平成 27 年 4 月 1 日からの指定管理者について、募集を行った結果は、下記のとおりです。

なお、指定管理者の指定は、本年 12 月議会における議決を経た後に行う予定です。

記

1 申請者 平成 26 年 8 月 12 日から平成 26 年 9 月 24 日まで募集を行ったところ、次の 1 者から申請がありました。

- (1) 名 称 公益財団法人和歌山県スポーツ振興財団
所在地 和歌山市手平二丁目 1 番 2 号
代表者 理事長 山口 裕市

2 和歌山県社会教育施設等指定管理者選定委員会（以下「選定委員会」といいます。）の意見 平成 26 年 10 月 9 日に選定委員会が開催され、公益財団法人和歌山県スポーツ振興財団が指定管理者として適当との意見がなされました。

3 審査の概要

(1) 審査の方法

選定委員会において、申請者から提出のあった書類の審査やヒアリングを実施し、あらかじめ定めた審査項目を、審査基準ごとに集計する方法により採点を行いました。

(2) 選定委員会の構成

委員（長）	氏名	役職
委員長	赤松 喜久	大阪教育大学 教授
委員	上野 宏行	学識経験者
委員	岡野 英生	あずさ監査法人 公認会計士
委員	中村 富子	NPO法人WACわかやま 理事長
委員	山口 泰雄	神戸大学大学院 教授

(3) 審査基準

審査基準	配点	審査項目	個別点	公益財団法人和歌山県スポーツ振興財団
1 県民の平等利用の確保 (確保されない場合は失格)	10	①施設の設置目的を十分理解し、県民の平等な利用が確保されているか	10	10
		計	10	10
2 施設効用の最大限発揮	40	①施設運営の提案内容が、施設の設置目的に合致し、利用者の増加に資する具体的・現実的な内容となっているか	15	12
		②利用者の意見・要望の把握手法が適切で、施設運営に反映される内容となっているか	10	8
		③自主事業の運営内容が魅力的かつ具体的・現実的で、施設の効用の増進に資する内容となっているか	10	7.5
		④利用者の安全対策及び個人情報保護管理が適切に行える方針・体制が確立されているか	5	4
		計	40	31.5
3 効率的な管理運営	20	①業務要求水準を超える効率的・効果的な内容となっているか	5	3.75
		②経費の節減について具体的で現実的な提案があるか	5	3.5
		小計	10	7.25
		③提案額の評価(自動計算)	10	10.00000
		計(①+②+③)	20	17.25000
4 管理を安定して行う能力	20	①施設の適切な維持管理を行う内容となっているか (仕様書記載の業務要求水準。施設毎に設定されるチェック表により確認し、確保されていない場合には失格とする。)	10	10
		②財政基盤が安定し、施設管理を効率的・効果的に行う能力を有しているか	10	8
		計	20	18
5 地域・社会貢献	10	①県内に事務所等を置いているか	6	6
		②法定雇用障害者数等を超過して障害者を雇用しているか	3	3
		③障害者就労施設等から物品等を調達しているか	1	0
		計	10	9
合計			100	85.75000

(4) 総評

- ア 地域連携に力を入れ、ボランティア募集やスポーツ教室を実施するなど施設の設置目的に沿った利用の確保が図られていると評価した。
- イ 広報活動や利用者の意見・要望の収集・反映による利用者増加への姿勢、マニュアルの整備・徹底による個人情報保護管理や危機管理体制の充実が図られていると評価した。
- ウ 施設の維持管理業務を高水準で適切に行えると評価した。